

再処理・リサイクル部会
平成 29 年度 第 4 回運営小委員会 議事録

1. 日時：平成 29 年 11 月 17 日（金） 13：30～16：40
2. 場所：日本原子力研究開発機構 東京事務所 第 3 会議室（富国生命ビル 20 階）
3. 出席者：森田部会長、中村副部会長、魚住委員、岡村(信)委員、岡村(泰)委員、川久保委員、佐々木委員、三倉委員、佐藤委員、津幡委員、野上委員、山本委員、渡邊（記録）

4. 配布資料：

- 資料 4-1 平成 29 年度 第 4 回会合 議事次第
- 資料 4-2 平成 29 年度 第 3 回運営小委員会 議事録
- 資料 4-3 2018 年春の年会 企画セッション提案書
- 資料 4-4 平成 29 年度繰越金使用理由書
- 資料 4-5 部会賞について
- 資料 4-6-1 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー ご案内
- 資料 4-6-2 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 予算関係
- 資料 4-6-3 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー アクションプラン
- 資料 4-6-4 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー アンケート
- 資料 4-6-5 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 収支
- 資料 4-6-6 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー プログラムの修正について
- 資料 4-6-7 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 参加者名簿
- 資料 4-6-8 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 作業分担リスト
- 資料 4-6-9 第 13 回再処理・リサイクル部会セミナー 会場確認事項と事前調整

5. 議事概要

5. 1 前回議事録について（報告者：森田部会長）

- ・前回議事録への追加コメントなし。（資料 4-2）

5. 2 2018 年春の年会 企画セッション提案書について（説明者：森田部会長、野上委員）

- ・春の年会の企画セッションに対して「「過酷事故時核分裂生成物挙動」研究専門委員会活動報告（案）」が提案される予定であり、再処理・リサイクル部会を含む関連部会を共催に加えたいという打診があったことが森田部会長より説明された。（資料 4-3）
- ・再処理・リサイクル部会が共催に加わることが承認された。
- ・春の年会の企画セッションへの再処理・リサイクル部会からの提案に関して野上委員より検討状況が説明された。提案内容を引き続き議論していくこととなった。

5. 3 平成 30 年度繰越金使用項目について（説明者：佐藤委員）

- ・再処理・リサイクル部会では GLOBAL2011 の運営等で発生した余剰金を予算の繰越金として活用しており、11/30 提出期限の平成 30 年度予算計画の申請に際し、どの様な項目に対して使

用を申請するのかを確認すべく、参考として平成 29 年度予算において繰越金を使用するための理由書の内容が佐藤委員より説明された。(資料 4-4)

- ・次年度向けの繰越金使用理由書では ANUP2018 における若手旅費支援を盛り込むこと等、次年度に向けた変更点について審議が行われた。
- ・予算関連事項として夏期セミナーの旅費支援額の引き上げについて審議し、九州からの参加者の旅費を参考として支援額をいくらまで引き上げるか検討していくこととなった。また、参加費を補助するかどうかについても今後の審議事項となった。

5. 4 部会賞について (説明者：渡邊委員)

- ・前回運営小委員会において、部会賞への応募を促進するため、他部会の表彰規定を参考として部会賞の定義の見直しを検討していくこととなった。他部会の表彰規定についての調査結果が渡邊委員より説明され、部会賞の定義の見直しについて審議した。(資料 4-5)
- ・他部会の表彰規定が再処理・リサイクル部会の表彰規定と大きく変わらないことから、部会賞の定義の見直しは行わないこととなった。関連して、功績賞に関しては部会活動への貢献も考慮されるべきであるという認識が共有された。引き続き、運営小委員会でも部会賞への推薦候補を検討していくこととなった。
- ・部会賞の応募フォーマットに候補者の生年月日を記載する欄があるが、再処理・リサイクル部会の部会賞では年齢制限がないことから、本項目を削除する方向で手続きすることとなった。

5. 5 部会セミナーについて (説明者：佐々木委員、川久保委員、山本委員、佐藤委員、岡村(泰)委員、岡村(信)委員、)

- ・公開済みの再処理・リサイクル部会セミナーの案内が佐々木委員より紹介された。(資料 4-6-1)
- ・予算案が川久保委員より説明された。(資料 4-6-2)
- ・セミナー当日までのアクションプランが佐々木委員より説明された。ポスター審査員の人選については津幡委員、領収証発行の手続きについては佐藤委員、講師のご略歴紹介の準備については三倉委員を担当とすることとなった。(資料 4-6-3)
- ・アンケート用紙の内容が山本委員より説明された。講演内容の満足度調査の項目を削除とし、次回テーマの意見募集を選択形式とするよう見直すこととなった。(資料 4-6-4)
- ・収支予測が佐藤委員より説明された。東京都市大の規定により会場費用を無料としていただけのため、収支は黒字になる見込み。11/30 の参加申し込み締め切り時点での懇親会参加申込者数に応じて懇親会の喫食注文数の見直しを図ることを確認した。また、次年度より学生の懇親会参加費を少額で設定することを検討することとなった。名札等の運営に必要な物品はセミナー予算から適宜購入することとなった。配布資料の印刷も可能であれば専門の業者に依頼することとなった。印刷の都合、発表資料の提出期限を 11/30 とすることが確認された。(資料 4-6-5)
- ・プログラムの「テーマ I：新規制基準に係る適合性審査について」に対して、講演者を追加したいことが岡村(泰)委員より説明され、運営小委員会で承認された。(資料 4-6-6)
- ・参加申し込み状況が岡村(信)委員より報告された。(資料 4-6-7)
- ・作業分担リストが佐々木委員から説明された。今回は受付が講演会場内であることから講演のビデオ撮影を廃止した。また、午後の受付設置は廃止し、午後からの参加者がいる場合は個別

に対処することとなった。発表用 PC は佐々木委員、会計用の金庫は塚原委員に準備をお願いすることとなった。(資料 4-6-8)

- ・会場に関する確認事項と事前調整の状況が佐々木委員から報告された。(資料 4-6-9)
- ・講演者への講演依頼状の作成については佐々木委員を、講演依頼状への部会印押印および講演者への郵送については渡邊委員を担当とすることとなった。

5. 6 その他

- ・フェロー推薦の募集時期であることが森田部会長より説明された。推薦候補について検討を進めることとなった。

以上